

# 「県立川崎図書館に関するアンケート」単純集計結果 分析

## 【分析の視点】

神奈川県立川崎図書館の利用者の状況や傾向を把握。

### 1 回答者について

#### 1) 性別

- 「男性」233人（74.2%）、「女性」70人（22.3%）でした。（第13表・第26図）

#### 2) 年代

- 「50代」が60人（19.1%）と最も多く、「20代」・「40代」がそれぞれ34人（10.8%）で最も少なくなりました。（第14表・第27図）
- 2020年と比較して「19歳以下」の割合は約7ポイント、「20代」の割合が約4ポイント、「30代」の割合が約7ポイント増加しました。（第14表・第27図）
- 2020年と比較して「40代」と「50代」の割合は約3ポイント、「60代」の割合は約10ポイント、「70代」の割合は約2ポイント減少しました。（第14表・第27図）
- 男女別にみると、女性で最も多く選択された項目は「19歳以下」（21.4%）ですが、男性は「50代」（19.7%）となり、女性は若年層が多く、男性は中高年層が多いと言えます。これは2020年と同様の傾向です。（第14表）

#### 3) 職業

- KSP内在勤を含めると「会社員・公務員」が118人（37.6%）と最も多く、次点は「学生」70人（22.3%）となりました。（第15表・第29図）
- 「会社員・公務員」の割合は2020年と比べてほとんど変化していません。（第15表）
- 男性で最も多く選択された項目は「会社員・公務員」（KSP内在勤を含む）（43.8%）で、女性では「学生」（31.4%）です。（第15表・第30図）
- 男女の回答率の差が倍以上あった項目は、「派遣社員」（男性0.9%、女性5.7%）、「パート・アルバイト」（男性4.3%、女性15.7%）、「専業主婦・専業主夫」（男性0.4%、女性11.4%）、「無職」（男性20.2%、女性4.3%）です。（第15表・第30図）

#### 4) 住所

- 県内在住者が全体の88.5%です。県内の内訳では川崎市在住者が全体の76.1%となり、県立川崎図書館所在地の高津区在住者は全体の44.3%です。2020年と比較して川崎市在住者は約10ポイント増加しました。（第16表・第31図）
- 男女の回答率の差が倍以上あった項目は、「横浜市」（男性10.7%、女性2.9%）、「他県（その他）」（男性0.4%、女性2.9%）です。（第16表・第32図）

### 2 利用頻度について

- 利用頻度は「月に数回」（37.9%）が最も多く、次は「年に数回」（20.7%）、「週に数回」

(20.1%)となりました。この傾向は2020年と同様です。(第1表・第1図)

- 2020年と比較して「年に数回」は約5ポイント減少しました。(第1表・第1図)
- 男女の回答率の差が倍以上あった項目はありません。(第1表・第2図)

### 3 来館目的について

- 「個人的な利用(趣味・自習)」(68.5%)が最も多く、次は「専門書の利用」(21.0%)、「仕事上の利用」(20.7%)となりました。この傾向は2020年と同様です。(第2表・第3図)
- 「個人的な利用(趣味・自習)」(68.5%)は2020年から約5ポイント増加しました。(第2表・第3図)
- 利用しているコンテンツでは「専門書」(21.0%)が最も多く、「専門誌・学会誌・新聞」(10.2%)、「社史」(4.5%)、「電子ジャーナル・データベース」(1.3%)と続いています。この傾向は2020年と同様です。(第2表・第3図)
- 利用しているサービスでは「座席の利用(自習・休憩)」(20.4%)が最も多く、次は「調査・相談」(1.6%)です。この傾向は2020年と同様です。(第2表・第3図)
- 男女の選択率の差が倍以上あった項目は、「専門誌・学会誌・新聞の利用」(男性12.4%、女性2.9%)です。(第2表・第4図)

### 4 県立川崎図書館の選択理由について

- 「家から近いから」(54.5%)が最も多く選択されました。男性の50.2%、女性の67.1%が選択しており男女の選択率に差が見られました。(第3表・第6図)
- 「専門的な資料があるから」(40.1%)は2番目に多く選択されました。男性の43.3%、女性の28.6%が選択しており男女の選択率に差が見られました。(第3表・第6図)
- 3番目に多く選択された項目は「静かな環境だから」(36.6%)です。(第3表・第5図)

### 5 利用場所について

- 「個別閲覧席(キャレル席)」(29.0%)、「書架(専門図書)」(23.2%)、「書架(専門誌・学会誌)」(19.4%)が主に選択されています。この傾向は2020年と同様です。(第4表・第7図・第8図)
- 回答者の選択が1割未満だった場所は「カンファレンスルーム」(6.7%)、「書架(社史)」(6.1%)、「書架(ものづくり入門)」(3.2%)、「電子ジャーナル・データベース席」(2.9%)、「書架(特許・規格)」(2.5%)、「ものづくりギャラリー(展示)」(0.3%)、です。なお、調査期間中に講演会は開催されていません。実施されていた企画展示は「川崎図書館の資料で見るSDGs」です。(第4表・第7図)
- 男女の選択率の差が倍以上あった項目は、「書架(専門誌・学会誌)」(男性23.2%、女性5.7%)、「書架(社史)」(男性6.9%、女性1.4%)です。(第4表・第9図)
- 書架で最も多く利用されていた資料の種類は「専門図書」(23.2%)で、2番目は「専門誌・学会誌」(19.4%)です。その他「特許・規格」「社史」「ものづくり入門」の選択率は2.5%から6.1%の間です。この傾向は2020年と同様です。(第4表・第7図・第8図)

## 6 利用時間について

- 「1時間未満」(42.0%)が最も多く、「1～2時間未満」(22.9%)、「2～3時間未満」(11.1%)、「4時間以上」(11.1%)と続きます。この傾向は2020年と同様です(第5表・第10図)
- 男女の選択率の差が倍以上あった項目はありません。(第5表・第11図)

## 7 利用の成果(アウトカム)について

- 選択率の上位4項目は、「知識・教養が深まった」(35.7%)、「研究や調べものが進んだ」(28.7%)、「仕事に役立った」(20.4%)、「余暇を有意義に過ごせた」(20.1%)です。このことは「ものづくり技術を支える機能」に特化した専門図書館としての役割を果せていると考えられます。(第6表)
- 男性・女性ともに最も多く選択された項目は「知識・教養が深まった」(男性34.3%、女性38.6%)です。(第6表・第13図)
- 男女の選択率の差が倍以上あった項目はありません。(第6表・第13図)

## 8 満足度について

### ➤ 「全般的に見た県立川崎図書館の満足度」について

- 「満足」(61.0%)となっており、2020年の(58.4%)から約3ポイント増加しました。「どちらかといえば満足」(35.7%)を合計すると96.7%となります。2020年の「満足」「どちらかといえば満足」の合計は94.1%で、2021年は約3ポイント増加しました。中央値も4を示しており、利用された方は現状に満足している傾向にあります。(第7表・第14図)

### ➤ 「資料やサービスについての満足度」について

- 「満足」が最も多く選択された項目は「施設・設備」(61.1%)です。「どちらかといえば満足」(30.4%)との合計でも最も満足度の高い項目でした。次点は「職員の対応」(満足:59.9%、どちらかといえば満足:28.6%)です。(第10表・第15図)
- 上記以外で「満足」と「どちらかといえば満足」の合計が7割を超えた項目は、「開館日・開館時間」(83.4%)です。(第10表・第15図)
- 「満足」と「どちらかといえば満足」の合計が5割未満の項目は、「電子ジャーナル・データベース」(35.1%)、「産業安全・労働衛生ビデオ・DVD」(26.8%)、「パンフレット・チラシ」(43.3%)、「調査・相談」(37.4%)です。(第10表・第15図)
- 「満足」と「どちらかといえば満足」の選択率が低い項目を見ると、必ずしも「不満」と「どちらかといえば不満」の選択率が高いわけではありません。それよりも「わからない」の選択率が高い傾向(50%から70%前後)にあります。満足度の低い項目は、認知度が低い、または利用経験がないため評価できないことを表していると考えられます。(第10表・第15図)
- 「わからない」が5割を超えた項目は「電子ジャーナル・データベース」(61.3%)、「産業安全・労働衛生ビデオ・DVD」(70.3%)、「パンフレット・チラシ」(53.1%)、「調査・

相談」(60.4%)です。(第10表・第15図)

- 「不満」が最も多く選択された項目は「開館日・開館時間」(5.7%)です。「どちらかといえば不満」(9.0%)との合計でも最も不満の高い項目でした。2020年の「開館日・開館時間」は「不満」が3.9%、「どちらかといえば不満」が10.6%で、「不満」「どちらかといえば不満」の合計での傾向は2020年も変わりませんでした。次点は「図書」です。(第10表・第15図)
- 女性の回答で「不満」が選択されたのは「開館日・開館時間」(7.1%)、「図書」(2.9%)、「専門誌・学会誌・新聞」(1.5%)の3項目でした。(第12表・第16図)
- 男性の回答で「不満」が選択されたのは「施設・設備」(0.9%)、「開館日・開館時間」(4.8%)、「図書」(1.4%)、「専門誌・学会誌・新聞」(0.5%)、「電子ジャーナル・データベース」(0.9%)、「産業安全・労働衛生ビデオ・DVD」(1.0%)、「パンフレット・チラシ」(1.0%)の7項目でした。(第11表・第16図)
- 女性の回答の中央値は、3が1項目、4が8項目でした。女性において「満足」が5割を超えた項目は、「施設・設備」(60.9%)、「職員の対応」(58.8%)の2項目です。(第12表・第16図)
- 男性の回答の中央値は、3が7項目、4が2項目でした。男性において「満足」が5割を超えた項目は、「施設・設備」(60.7%)、「職員の対応」(60.1%)の2項目です。このことは女性と同じ傾向がみられます。(第11表・第16図)